

焼 岳

○概況（平成 18 年 9 月）

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しています。

○噴気の状況

9 月 23 日、焼岳の南西側斜面から噴気が上がっているとの通報がありました。10 月 4 日（期間外）に観測した結果、従来から知られていた程度の弱い噴気活動が認められましたが、特段の異常はありませんでした。また、山頂部の噴気にも特に変化はなく静穏な状態でした（図 1、2、3）。



図 1 焼岳 南西側斜面および山頂部の噴気の状況（2006 年 10 月 4 日、南側約 3 km から撮影）



図 2 焼岳 南西側斜面および山頂部の噴気の状況（2006 年 10 月 4 日、南側約 3 km から撮影）

図 1 の噴気部分を拡大して撮影した写真

この資料は気象庁のほか、京都大学、名古屋大学および独立行政法人防災科学技術研究所のデータ等も利用して作成しています。
本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000（行政界・海岸線）』『数値地図 50m メッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 17 総使、第 503 号）。



図3 焼岳 南西側斜面の噴気の状態（2005 年 10 月 5 日、南側約 10km 地点から撮影）

○地震の発生状況

焼岳付近を震源とする地震は観測されず、地震活動は静穏に経過しています（図2）。

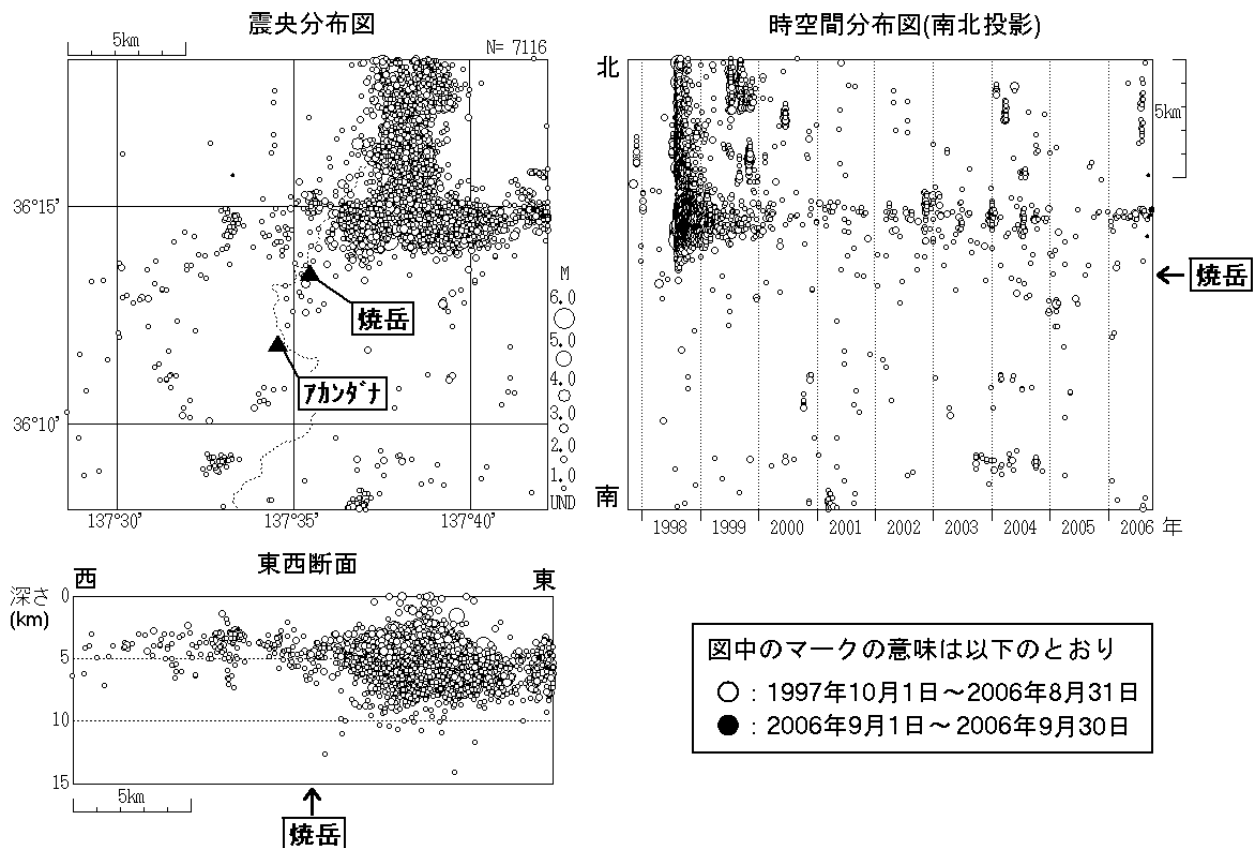


図4 焼岳 山体及びその周辺の地震活動（1997 年 10 月 1 日～2006 年 9 月 30 日、マグニチュード¹⁾は暫定値）

1) マグニチュード（M）は地震の規模を表します。資料中のMは暫定値で、後日変更することがあります。